

# 日本地球電気磁気学会会報(50号)

1971年6月30日

日本地球電気磁気学会

連絡先 東京都文京区弥生2丁目11の16

郵便番号 113

東京大学理学部地球物理学教室内

電話 03-812-2111 内線 6476

振替 東京 4860番

## 第49回 総会報告

於 建設大学校講堂

昭和46年6月3日 16時-18時

行武会員が福島委員長より総会議長に指名され、会の進行が開始された。

1. 原田美道大会委員長(国土地理院)が歓迎の挨拶を述べられた。
2. 諸報告
  - a. 新入会員報告 6月2日までに事務手続の終了した会員の紹介が別項記載の通り行なわれた。手続未了の外国在住入会希望者については所定の手続き終了後会報等で紹介する予定である。
  - b. 会計報告 会計の現状説明が行なわれ、特に今年度は未納金の回収を積極的に実行したとの報告があった。
3. 田中館賞授与ならびに審査報告  
第53号田中館賞は津田孝夫会員の「クロスフィールド不安定理論とその電離層物理への応用」に対して授与され、その審査報告が行なわれた。
4. 長谷川記念杯贈呈  
第7号長谷川記念杯ならびに感謝状が宮崎友喜雄会員に贈呈された。

5. 福島委員長より挨拶がありその中で、特に今年度は学術会議選挙の年度でもあるので学会としても適当な候補者の推薦を考慮したい旨述べられた。

## 6. 議 事

議事に入る前に総会出席者数の調査を行った結果、出席会員87名、委任状71名、計158名で総会成立員数が充されていることが確認された。

### a. 昭和45年度決算報告及び昭和46年度予算案

別項記載の45年度決算報告ならびに46年度予算案は賛成多数で承認された。

### b. 運営委員会提案議題「学会誌の出版および発行について」

加藤編集委員よりJ.G.G.誌編集・出版の現状が説明された。編集補助要員ならびに印刷所双方共熟練者を長期間確保しておくことの困難さが強調され、本学会の規模では現状を維持して行くことは困難であることが報告された。ついで、小嶋運営委員より、東大出版会へのJ.G.G.誌移行についての経過報告がなされ、事前に配布されていた契約書ならびに覚書案を逐条にわたって説明した。更に学会誌の国際化を目指すことを目標として編集委員会を強化して行くこともあわせて説明された。外国在住会員への販価、欧文校閲料金、別刷代金等について会員から質疑が行なわれた後、J.G.G.出版の東大出版会移行の件は賛成多数で承認された。

### c. 会員提案議題

広瀬会員から提案された「地球電気磁気学会と防衛技研、陸上自衛隊武器学校との関係について」の議題は、総会での時間的余裕がなくなったため、提案者から主旨の説明のみが行なわれ、その際、此の問題についてのシンポジウムを学会で開いて欲しいとの希望が出されたが、改めて運営委員会宛に提案してもらうことになった。

## 7. 次期開催地

秋期総会の開催地として福島委員長から信州大学(松本)にお願いしたいとの提案があり、鷺坂会員から別項の日程でお引き受けするとの発言があり

松本市で行なうことになった。

最後に中田評議員から今期総会のお世話を頂いた国土地理院ならびに建設  
大学校の関係者に謝辞が述べられ全員拍手をもって感謝の意を表して総会を  
終了した。

#### 第 4 9 回 総会ならびに講演会後記

昭和 4 6 年度春期講演会は玉川上水のほとり、建設大学校の静かな環境の中  
で 6 月 1 日から 4 日まで 2 会場に分かれて行なわれました。今回も講演数は非  
常に多く 1 1 8 篇に達しました。朝早くから熱心な講演討論がなされ、特に若  
い人達の質疑討論が活発でした。

特別講演は

松野太郎氏（東大理）；「高層大気力学の諸問題」

及び

川井直人氏（阪大基礎工学）；「超高压地球核」

の両氏からそれぞれ非常に興味ある有益な講演をして頂きました。松野氏の突  
然昇温の物理的機構の講演は実際の上層天気図と数値実験の結果とを時間毎に  
対比させ、非線形波動の相互作用効果を見事に示した点で非常に印象深いもの  
でした。一方、川井氏はユーモアをまじえながら超高压発生装置開発の苦心談  
を披露され、発生装置を用いての超高压下での見事な実験結果を示され、研究  
における開拓者精神の重要性を深く認識させられました。

#### 新入会員紹介

川 村 孝 式 （名大プラ研）

尾 田 孝 夫 （八幡中学校）

皆 越 尚 紀 （電 波 研）

宮崎光旗 (東大・地物)  
 田中彰 (同志社大・工)  
 中谷進 (京大・地鉦)  
 張紹昌 (東海大・工)  
 鈴木国弘 (中部工大)  
 吉岡敏太郎 (中部工大)

菊池弘 (NASA)

Prot. H. Pöeverlein (Technische Hochschule Darmstadt)

Dr. L. J. Lanzerotti (Bell Telephone Laboratories)

Dr. J. F. Hermance (Brown University)

Mr. P. A. AH-HEE (Universite de Madagascar)

昭和45年度決算報告

<u>収 入 の 部</u>		<u>支 出 の 部</u>	
前年度繰越金	467,722	第47回総会費	255,962
正会員会費	931,074	第48回総会費	255,900
準会員会費	1,262,734	会誌J.G.G.	
賛助会員会費	5,000	22-1.2	1,367,498
文部省助成金	200,000	22-3	809,430
預金利子	14,600	22-4	1,050,140
予稿集売上	333,800	編集事務費	200,000
別刷代金	1,888,591	会報等印刷費	322,920
別刷交換会々費	22,000	通信郵送費	223,055
IAGA-IASPEI 出版費	357,100	消耗品費	16,807
計	5,482,621	会合費	10,860
		学会連合費	1,000
		謝金	142,500
		田中館賞々金(5件)	25,000
		長谷川先生供物	6,200
		繰越金	795,349
		計	5,482,621

長谷川基金

前年度繰越金	502,025	事業費	27,300
預金利子	26,170	繰越金	500,895
計	528,195	計	528,195

昭和46年度予算案

収入の部

支出の部

前年度繰越金	795,349	第49回総会費	250,000
正会員会費	1,000,000	第50回総会費	250,000
準会員会費	1,500,000	会誌J.G.G.	
賛助会員会費	100,000	23-1	850,000
文部省助成金	220,000	23-2	850,000
預金利子	15,000	23-3	850,000
予稿集売上	350,000	23-4	850,000
別刷代金	1,800,000	編集事務費	300,000
別刷交換会々費	22,000	会報等印刷費	350,000
計	5,802,349	通信郵送費	250,000
		消耗品費	60,000
		会合費	10,000
		学会連合費	1,000
		謝金	160,000
		田中館賞々金(4件)	20,000
		繰越金	75,1349
		計	5,802,349

長谷川基金

前年度繰越金	500,895	事業費	14,000
預金利子	25,000	繰越費	511,895
計	525,895	計	525,895

## 第50回総会ならびに講演会についてのお知らせ

春期学会の会場でもお知らせしました様に、今年度秋期総会ならびに講演会は次の日程で松本市で開催されることになりました。

場 所        松本市々民会館  
日 時        10月12日(火)～15日(金)

講演申し込み締切	: 9月4日(土)
予稿締切	: 9月11日(土)

宛先は何れも学会事務局宛

4日間の日程は次の様に組まれる予定ですので宿泊を予約なさる場合に御留意下さい。

第1日	10月12日	
第2日	13日	固体地球電磁気関係
第3日	14日	特別講演, 総会, 懇親会
第4日	15日	宇宙線

講演会は連日2会場制となる予定ですので超高層関係は上記4日間に適当に連日組み込まれることとなります。

## 学会誌の移管問題(中間報告)

今年度の総会で、J.G.G.発行事業を学会のイニシアチブの下に東大出版会の協力を得て行なうという提案が可決されました。運営委員会はこの決議に従い、明年度Vol.24より新しい装いの下にJ.G.G.を出版すべく、東大出

版会と細目手続につき事務折衝を急いでおります。今年度は移行期間としてとりあえずNo.2より東大出版会がJ.G.G.の発行の事務手続を従来の様式に従い代行することになります。

この様に1972年よりJ.G.G.は面目を一新し、国外研究者をもeditorに迎え、より世界的な学術誌として発足することになります。J.G.G.の新たな前途を祝し、Vol.24には優れた論文を多数収録し、世に問いたいと思いますので、皆様の優れた論文の投稿をお待ちする次第です。

(小 嶋 記)

## そ の 他

### ○ 山路自然科学振興財団研究助成金について

今年度から新たに上記研究助成金の制度が設けられました。助成金は1件100～200万円程度です。応募については学会の推薦が必要ですので関心のある方は学会事務所宛御照会下さい。なお本年度の締切は8月末日となっております。

### ○ ユネスコ職員候補者の募集について

日本ユネスコ国内委員会より依頼が地球物理学連合を通して学会本部にきています。関心をお持ちの方は下記に直接御照会下さい。

〒100 東京都千代田区霞ヶ関3-2-2

文部省

日本ユネスコ国内委員会事務局・総務課

### ○ 第49回講演会(春期、建設大学校)の予稿集の残部が若干ありますので必要の方は学会事務所宛申し込んで下さい。

定価は800円です。